

玉川裕康さん

第5回東アジアU-22ハンドボール選手権

2017年6月27日(火)～7月2日(日)

岩手県花巻市総合体育館

日本チームは全勝して優勝！ 2試合目、香港戦をレポート

2020年東京オリンピックでの活躍が期待される、22歳以下の東アジア選手権大会が花巻市で開催された。参加は中国、韓国、香港、チャイニーズタイペイ、日本の5カ国。日本は全4試合を全勝して完全優勝。おめでとうございます！

6月28日、2試合目の香港戦を応援に現地へ応援に行った。



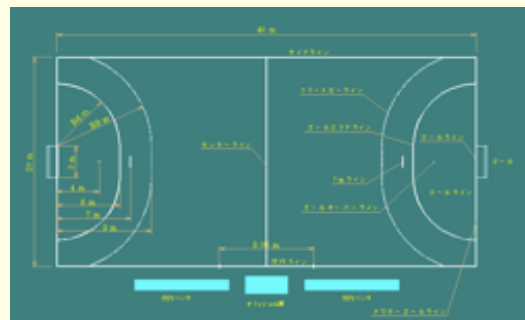
身長198cmの玉川さんはひときわ目立つ。
香港戦ではMVPを授与された

ハンドボールのルール

1チーム7人でプレー。うち、1人はゴールキーパーで、他はコートプレーヤー。相手ゴールにシュートして1得点となり、前・後半各30分の試合時間に多く得点したら勝ち。コートは40m×20m。ゴール

から6mの距離に引かれている半円のライン=6mラインにはゴールを守るGKのみ入ることができる。攻撃するチームは、6mラインの外からしかシュートできない。

(ハンドボールリーグHPより抜粋)



玉川さんは攻守で存在感を発揮。 香港 に圧勝！

チーム紹介の後、試合が始まった。スタートメンバーとしてコートに登場した玉川さんは、攻撃時のブロックとディフェンスを最前線で行う“ポスト”のポジションらしい。メンバーのシュート時には、

援護のため俊足でゴール前へ移動。体を張って相手を阻みボールの道を空ける。ディフェンス時にはキーパー前に大きく仁王立ちでゴールを守っている。

ゲームは日本チームの点

からスタート。パスが繋がって点差が開いていく。ナイス！玉川さんもゴールを決めた！のだが、写真を撮れずごめんなさい…。

15分ほど経ったところでタイムアウト。そこで玉川さんはベンチに下がった。前半30分は29-8で日本がリードして終了。後半30分、玉川さん再び登場。攻めでも守りでも、圧倒的な存在感だ。シュートを決めようとする相手を空中で捕まえたり、と頼もしい。結果は42-19で勝利、日本は2戦2勝となった。おめでとうございます！



ゴール前の競り合いもハンドボールの魅力。左はシュートする香港選手を空中で捕まえた玉川さん



今日の試合は、初戦の課題をクリアして勝つことを目標としていました。シュートの機会を逃さず得点できるチームプレーの実践です。前半はうまく点差をつけられましたが、後半はイージーミスが多くなってしまいました。次の試合ではチームで改善していきます。この大会ではもちろん、優勝が目標です！

香港戦の後に
お話を聞きました



結果

第5回東アジアU-22ハンドボール選手権大会

2017年6月26日(月)～7月2日(日) 岩手県・花巻市 男女とも5カ国の総当たり戦

大会概要 試合日程・結果

日本、男子が4戦全勝で優勝、女子は3位

| 男子 | | | | | 女子 | | | | | | |
|--|--|---|---|--|--|---|---|---|---|----|------|
| 6/27(月) 17:00 日本 27-16 中華台北 詳細 | 6/28(水) 17:00 日本 42-19 香港 詳細 | 7/1(土) 17:00 日本 34-14 中国 詳細 | 7/2(日) 15:00 日本 30-22 韓国 詳細 | 6/26(月) 13:00 日本 31-15 中華台北 詳細 | 6/28(水) 11:00 日本 23-25 中国 詳細 | 7/1(土) 11:00 日本 47-10 香港 詳細 | 7/2(日) 13:00 日本 20-24 韓国 詳細 | | | | |
| 男子 | | | | | 女子 | | | | | | |
| 順位 | | 勝 | 敗 | 勝点 | 得失点差 | 順位 | | 勝 | 敗 | 勝点 | 得失点差 |
| 1 | 日本 | 4 | 0 | 8 | +62 | 1 | 韓国 | 4 | 0 | 8 | +47 |
| 2 | 韓国 | 3 | 1 | 6 | +43 | 2 | 中国 | 3 | 1 | 6 | +32 |
| 3 | チャイニーズタイペイ | 2 | 2 | 4 | +15 | 3 | 日本 | 2 | 2 | 4 | +47 |
| 4 | 中国 | 1 | 3 | 2 | -42 | 4 | チャイニーズタイペイ | 1 | 3 | 2 | -35 |
| 5 | 香港 | 0 | 4 | 0 | -78 | 5 | 香港 | 0 | 4 | 0 | -91 |